

前略4月ですね。何かと忙しくなりますね。仕事・学校・いろいろと・・・

先日桜餅を頂戴いたしました。外側の桜の葉っぱ食べるのか食べないのかどうなのだろうと考えながら食べたり食べなかったりその時々です。桜前線どこまで北上したかな。今年も花見できませんでした。加治木も名所あるのに。皆さんはいかがでしたか。



「動物は言葉がしゃべれないから病気になっても分からないので困る」と言う声をよく耳にします。本当にそうでしょうか？自分のペットが病気になった時、もっと早く気づいてあげれば良かったと後悔した経験のある人は多いと思います。その時のペットたちの様子おぼえていますか？病気のペットたちは何かSOS信号をあなたに発していたはずです。病気によって表れる症状は様々ですが、共通していることはいつもと違う様子を示すことです。小さな変化に気づいた時にはいつも以上に気をつけて見ていて下さい。尿や便の状態・食欲や食べ方・鳴き声や行動の様子など。そして私たちに正確な症状を伝えてください。

今月のトピック ペイイ春号22ページもご覧下さい。

今月はノミに関するレポートです。3月下旬からノミが原因で皮膚病を起こしているペットの来院が急に増加しています。とうとう本格的にノミの発生時期がやって来たようです。皆さんも早めの対策をぜひ考えてみてください。ノミには

イヌノミ・ネコノミの二種類がいます。最近では両方共に寄生することもあります。犬にイヌノミ、猫にネコノミといった考え方はもう昔の事のように。そして人間にも悪さをします。

さて、ノミの寄生によって起こる皮膚病は様々ですが共通して起こる症状に「かゆみ」が現れます。急に歯で皮膚をガジガジ噛んでみたり
体の毛が所々唾液で濡れていたり、といった様子

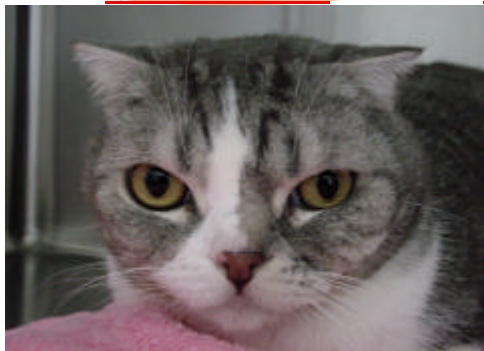
子が観察されるとノミが寄生していると思ってください。ノミが見つからなくても必ずいます。飼い主さんがノミを見つけた時にはすでに数十匹から百匹程度の寄生が確認された例も報告されています。現実には当病院でもそういった例がたくさんあります。ノミの寄生がもたらす環境の悪化は人間の生活までも不快にさせてしまいます。毎年この時期になると予防対策をいくつか提案しています。

予防対策はノミの寄生を防止することです。近年ノミ予防に対する考え方が多くの飼い主さんに理解していただけるようになってきました。私がこの動物病院を始めたのが10年前でした。そのころは外来ペットの半分ほどにノミの寄生が確認されていました。「ノミがいますね。何か予防はされていますか。」と私が尋ねますと「えっ、予防ができるんですか？」と逆に聞かれてしまうぐらいでした。でもそれも数年前から変わってきました。飼い主さんのノミに対する予防意識がだんだん高くなられたようです。最近では飼い主さんのほうが先に「そろそろノミの時期になったのでノミの薬を下さい。」と買って行かれます。動物を大切にしようという考えが多くの飼い主さんに浸透していった結果だと思っています。嬉しいことです。今後もぜひ予防を続けていただきたい。動物のために、そして自分のために。誰だってノミに噛まれたくないですもんね。痒くてたまりませんよ。私も経験しましたけど蚊に刺された時より痒かったですヨ。

Animail

アニメールH12-4号:加治木動物病院

今月の顔・にゃん



マロンちゃん

スコティッシュ・フォールド ♀

今月の顔に猫ちゃんが登場です。当院にはいろんな種類の動物が来院します。犬・猫・うさぎ・ハムスター・フェレット・かめ・インコ・りすなどなど。順おって紹介します。どうぞご期待ください。



お知らせ

ペイイ春号

無料頒布中

トリミング室からのお知らせ

毎年4月から予約が混み合います。特に週末の金・土曜日は予約が大変とりになります。お早目のご予約をどうぞ。

WANダブルなお話

ある晴れあがった春の日私は外来のない昼間の時間帯に往診に出かけました。車で10分ほど。さて到着、門を開けチャイムを鳴らそうとしたらタイミングよくドアが中から開けられ「先生お待ちしていました。」と飼い主さんが出てこられました。あまりのタイミングのよさにびっくりしながらワクチンと耳のそうじを済ませました。それからワクチン証明書を渡したり費用をいただいたりしていました。突然、今ワクチンの終わったワンちゃんが「ワーン・わん・わん」と大騒ぎ。すると飼い主さん「あら、お隣の奥さんだわ。」と言って玄関の方にいかれました。またまたチャイムのなる前にドアが開けられました。私には来客が隣の奥さんかどうかは分かりませんでした。数分してから「先生お待たせしてすみません。回覧版でした、隣からの。」と言いながら戻ってこられました。そこで私は「どうして隣の奥さんだと分かったんですか。」と聞いてみました。飼い主さんいわく、「このワンちゃん誰が来たか分かるんですよ、うちのチャイムですから。」とのことでした。それから詳しく聞いてみるとなんとワンちゃんの吠え方、騒ぎ方で大体わかるそうです。家族はもちろんのことよく来る人の数人を知っているそうです。すごい・・・。

皆さんもこういったことは少なからず経験していることと思います。これからよくワンちゃんを観察すると誰だか分かるようになるかも知れませんよ。お宅にもチャイム犬がいますよきっと、目の前にね。

毛がぬけちゃった。

4月の頃、ペットの毛がぬけ始めるのは気温の上昇に体が反応して冬毛から夏毛に変わる換毛期で病気ではありません。それ以外の季節でも毛は常に少しずつ抜け替わり、新しい毛がはえ正常な状態を保ち、そして皮膚を保護しています。でも、それ以外の季節に全身または一部の毛が異常に抜けるようなら、皮膚病の可能性あります。皮膚病の原因はノミの寄生がほとんどです。おかしいな？と思ったら早めに対処し、予防してください。

編集後記：アニメール3月号、300枚配布しました。4月号はさて何枚になるのやら。毎回コンピュータで編集してフルカラー印刷、印刷に少々時間がかかるのが難点。でも編集している時はけっこう楽しくやっています。病気の話より面白かった話のほうが個人的には好きなのですがやはり記事のバランスもありますので、そうもいかず。